



▲いせさんのワークショップは2回目。一人ひとりの絵が繋がると歓声が響きました

今回は、「手をつなぐ」をテーマに自分が手をつなぎたい友達や家族などを自由に描き、仕上げに全員が手をつないでいる大きな絵を完成させました。

図工教室を終えた高橋夏菜さん（白石小4年）は「手を描くところが難しかったけど、皆の絵が繋がって良かった」と教室を振り返りました。いせさんは「身近ないろいろな物に興味をもって欲しい。時には、止まったり戻ったりすることも大切ですよ」と児童に言葉をかけ教室を締めくくりました。

さあ、皆で手を
つなぎましょう

2月3日、草野・飯樋・白石小学校で図工教室が行われ、絵本作家いせひでこさん、写真家柳田邦男さんから4年生が絵の描き方や、物の見方を教わりました。

いせさんと柳田さんは震災直後に小学校を訪れ、昨年には絵を描くワークショップも行っています。



▲「ナ～イス！」の音が響き渡っていました

2日間参加した大谷来夢さん（草野小3年）は「留学生との交流について」最初は、緊張したけど一緒にからのギョーザやハンバーグを作れて楽しかったです」と交流を振り返っていました。

同クラブでは、今後も引き続き、村の子どもが交流をもてるようなイベントの開催を予定しています。



▲留学生と一緒にクッキング

この日参加したのは、村出身の小・中・高校生約20人の他、アメリカや中国、韓国などの留学生ボランティア。卓球や料理を通じて一緒に楽しい時間を共有しました。

いたてスポーツクラブ（大澤和己理事長）は、1月24・25日の2日間、福島市の県青少年会館で「いたてっ子未来プロジェクト」を開催し、参加した児童らが料理やスポーツを通して交流を楽しみました。

料理×スポーツ 楽しむ
「いたてっ子未来プロジェクト」



▲節分にいろいろな鬼が園に集まりました



▲2匹の鬼が登場すると、一斉に豆がまかれました

園児のお腹には、こんな鬼が…
テレビばかり見ている鬼
ゲームやり過ぎ鬼
暴れん坊鬼
忘れん坊鬼
寝ぼう鬼

…などなど
※お腹の中の鬼は、子ども達が自分の直したいところを考えました。

「鬼はそこ！ 福はうちー！」

2月3日の節分の日、草野・飯樋幼稚園で豆まき会が行われ、園児たちは自分で作ったお面をかぶって豆まきをしました。

この日は、節分の由来や「お腹の中の鬼」についてはじめに先生から話があり、その後、豆まきとなりました。園児たちは鬼が登場すると、大きな声で「鬼はそこ！福はうちー！」と鬼を追い払いました。

はじめて幼稚園で豆まきをした高橋結友ちゃん（年少児）は「鬼が怖かったけど、がんばったよ」と涙目で感想を話していました。



▲「元気になって帰るよ」と北山夫妻

施設開放事業で、運動をしている人が
3年で約2倍に増えています！
皆さんもぜひ、参加しましょう♪

平成24年度年間利用者 441人
↓
平成26年度年間利用者 812人
※平成27年2月18日現在



▲初心者・おひとりさま大歓迎♪お待ちしております

村教育委員会は、避難生活による運動不足を解消しようと毎週水曜日に県青少年会館体育館の施設開放を行っています。施設開放では毎回20人程が集まり体育館で自分のペースで卓球やバドミントンを楽しんでいます。

また、第2・第4水曜日には講師によるラジオ体操教室を開き、正しいラジオ体操も行っています。夫婦で参加している北山安信・フヨノさん夫妻（飯樋町）は「週に1回の楽しみ。皆の顔を見ながら、体を動かせるのいいね」と笑顔で話していました。

体動がして、笑ってみっぺ